

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SORATO (UMIE) いなみ第二教室 ※SORATOいなみ第二教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 23日 ~ 2025年 11月 26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 10月 23日 ~ 2025年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	連携している言語聴覚士からの療育プログラムから、その内容に基づいて言語に特化した支援を行っています。	手作りの教材を用いる事により、個々の好みに合わせた物や興味・関心を持つてもらいやすいです。その中で意欲を掻き立てやすくするように、職員間で日々意見を出し合いながら工夫しています。	子ども達の持っている能力に合わせてステップアップが出来る様に、段階を踏んだ教材を増やして行きたいと思います。
2	午前、午後の2部制とする事で少人数制となり、より細やかな療育支援が行っています。	1対1での個別支援の時間もつくっています。集団活動（2~3人の小集団活動も含めて）の際も、2~3歳の子ども達でも安心して活動できるように、職員の配置をしています。	子ども達はもちろん、保護者の方にもより安心してご利用いただけるように、職員のスキルアップを図りたいと思います。
3	近隣では一番を誇る教室の広さを生かし、日々の活動や支援を行っています。	療育室が広い為、バラバラでの活動になりすぎない様に子ども達の活動スペースを内容に合わせて意識的に境界を作っています。	療育室を広く使いつつ、範囲を決めるなど広さを生かしながらもメリハリのある使い方をしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部研修に行ける機会が少ないことが挙げられます。	営業時間の中で、子ども達の支援を占める時間の割合が大きい為、外部研修に参加するにしても、移動時間を含めてまとまった時間が取りにくいです。外部研修自体が、午前中に設定されるものが多く、支援時間と重なってしまうので、研修に職員を充ててしまうと支援の質が落ちてしまう、と考えます。	隙間時間を見つけることもしますが、まずは午後（第2部）でのご利用が無い時に、その空き時間を利用してzoomなどのオンラインでの研修も活用していきたいと思います。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		SORATO (UMIE) いなみ第二教室 ※SORATOいなみ第二教室						公表日	2025年12月26日	利用児童数	2025年12月26日	回収数
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100% (22人)				・広くて綺麗なので活動しやすそうに思う。 ・教室が広いので十分だと思う。 ・しっかりと体を動かしたりできる広さだと思う。			・指導訓練室は基準の2倍以上のスペースを確保しています。指導訓練室とは別に約70mのブレイルームも備えています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	95% (21人)	5% (1人)			・お迎えの時、何人か先生を見るので適切かなど思います。			・既定の人員配置を上回る人数で支援を行っています。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	95% (21人)	5% (1人)			・動物のマークや分かりやすい時計などの工夫がされている。 ・子どもの特性を説明する場を設けて頂き、安心して利用させてもらっています。			・現状は維持していく、必要に応じて更なる工夫を施して行きたいと思います。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100% (22人)				・個別活動では、年齢ではなく、個別に合った課題を取り組んでいると感じます。 ・よく理解してくださっていて、親では分からかった気づきが多く感謝です。 ・いつも施設が綺麗で清潔感もあり過ごしやすいと思います。			・必要に応じて空間を区切ったりと工夫をおこなっています。 ・清掃・消毒は活動後すぐに行い清潔を保つようにしています。		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100% (22人)				・子どもの成長を同じように感じておられるので理解してそれに応じていただけていると思います。 ・子どもの特性に応じた専門性のある支援が受けられています。 ・一人一人に合った個別教材を準備してくれています。			・個別に応じた対応を心がけ、集団活動の際にも児童にあったやり方で参加してもらっています。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100% (22人)				・充実した支援内容だと思います。 ・十分にあってると思う。			・大きな相違は無いが、個々に応じた支援を臨機応変に行っています。		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100% (22人)				・状況をしっかり聞いた上で、作成されていると思います。 ・毎回よく分析して作成してくださっていて、ありがたいし信頼しています。			・現状を維持できるように努めます。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100% (22人)				・保護者の悩みを聞いてくださったり、園との連携もしてくださったりと、全体的に支援してもらっていると感じている。 ・計画は具体的だと思います。			・現状を維持できるように努めます。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	95% (21人)			5% (1人)	・本人の課題となっていた部分が達成されていたので、結果に繋がっていると思う。 ・本人のニーズにあった支援を毎回楽しく提供してもらっていると感じる。			・現状を維持できるように努めます。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100% (22人)				・四季を取り入れたり、常に色々な活動をしてくれている。 ・毎回いろいろな活動プログラムを工夫してくださり、子供が楽しく来所しています。 ・いつも様々なことを経験させてもらい、いつも楽しく療育を受ける事ができていると思います。			・現状を維持できるように努めます。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	50% (11人)	5% (1人)	13% (3人)	32% (7人)	・療育のおかげで、こども園での友達とのやりとりも少しづつ増えたと思う。			・現在行えません。		
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% (22人)				・丁寧に分かりやすく説明してもらえた。 ・細かく沢山説明してもらえた。 ・質問にも丁寧にわかりやすく答えてくれました。			・現状を維持できるように努めます。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100% (22人)				・分かりやすく説明してくださるので、安心できる。 ・計画を示されて、説明して下さいました。			・現状を維持できるように努めます。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100% (22人)				・より専門性の高い講師の方々のお話を聞く機会があり、大変ありがたかったです。 ・研修会はとても勉強になるので、毎回楽しみにしています。			・3か月に1回のペースで外部講師を招いて研修会をおこなっています。		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	95% (21人)	5% (1人)			・帰り際、その日の様子について詳しく話してくださるので理解出来ています。 ・いつも体調や些細な事も、聞いて貢えるのがたいたです。			・現状を維持できるように努めます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95% (21人)			5% (1人)	・困った時の声掛けなど度々アドバイスいただきました。 ・子育ての悩みを聞いて、アドバイスしてもらえるのは本当に助かっています。 ・保護者の気持ちに寄り添いながら話をしてくれます。 ・希望すればすぐに時間を作ってくれてじっくりとお話を聞いてもらえて助かっています。			・現状を維持できるように努めます。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100% (22人)				・共感的にされていると思います。 ・一緒にになって子どもの成長を喜んでくださるので、保護者も嬉しい感じる。			・より一層寄り添えるように努めて行きます。		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	82% (18人)	5% (1人)	13% (3人)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会で一緒に小学校に入るお子さんの保護者さんと知り合えたので、とても感謝している。 ・保護者会の機会を設けてくださいました。 ・まだ参加出来ていないが父母の交流会も開催されて兄弟も一緒に行ける様になって良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会にはご兄弟の参加も促しております。まだ周知出来ていない様子ですので更にわかりやすくお知らせしていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100% (22人)			<ul style="list-style-type: none"> ・何があると出来る限り対応してくださり、様子が日頃から伝わってくる。 ・迅速かつ適切に対応されていると思います。 ・相談しやすい環境作りをされていて、悩んでいる時は適切に対応してくれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ特定の保護者様達だけなので今後全ての保護者様にもご利用いただけるように時間などの工夫をしていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100% (22人)			<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の報告メールが嬉しいし、他のこともメールで分かりやすく情報伝達してもらっている。 ・十分満足しています。 ・メールやSNSで発信されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別にも対応させて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100% (22人)			<ul style="list-style-type: none"> ・季節にあったイベントなど、SNSを通じて楽しく活動しながら学べている様子が伺えます。 ・インスタの発信がとても素敵で楽しみにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持できるように努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100% (22人)			<ul style="list-style-type: none"> ・顔は分からなくしてもらえてもらえるのが、安心できている。 ・インスタでは顔をモザイクにしてくださっています。 ・十分に留意されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持できるように努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	91% (20人)		9% (2人)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な物事に対して、よくマニュアル化されていると思います。 ・十分にマニュアル化されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持できるように努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	82% (18人)		18% (4人)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが「ダンゴムシポーズ」と言っていたのでそう思います。 ・定期的に避難訓練が行われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室では3か月に1回のベースで行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95% (21人)		5% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全についてはよく考えられていると思う。 ・入所の際に説明があったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持できるように努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	91% (20人)		9% (2人)	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに連絡してくださって、状況説明してくださるのでこちらも理解しやすく、助かっています。 ・体調不良の際、速やかに連絡があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を確認した後、直ぐに然るべき対応を取らせて頂きます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	95% (21人)		5% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回とても楽しみにしていてSORATO2のおかげで、こども園にも頑張って行っていると思う。 ・先生に憧れています。 ・毎回安心感をもって通所しています。 ・「せんせいいるか。」と自ら行く事も増え、すごく安心して利用していると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層、楽しい！行きたい！と思ってもらえるような教室を作って行きます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	82% (18人)	14% (3人)	4% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・よく「〇〇したい」「〇〇先生と遊びたい」等と言って楽しみにしている。いつも「今日はSORATO？」と聞かれるほどです。 ・楽しいかどうかはわかりません。 ・最近行き渋りはあるが、活動に入れば楽しめているようなので安心しています。 ・職員の方の工夫だと思いますが「今日は何するのかな～」と楽しみに通所しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層、楽しい！行きたい！と思ってもらえるような教室を作って行きます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95% (21人)		5% (1人)	<ul style="list-style-type: none"> ・通所してから着実に出来事が増え、驚くほど成長したなど感じています。 ・SORATO2とBLOOMさん(保育所等訪問支援)を利用させていただいているおかげで、こどもはイキイキとして、私もどうにか子どもと向き合えていました。いつも本当にありがとうございます。 ・どの先生方も優しくて、時には厳しくというメリハリもあるのですごく良い雰囲気です。通って良かったです。 ・十分に満足しています。 ・個別と集団での療育を丁寧にしてくださっているので満足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状に満足せずに更にご満足いただける様にご意見を傾聴し、全ての支援に生かして行けるように配慮致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SORATO (UMIE) いなみ第二教室 ※SORATOいなみ第二教室
------	--------------------------------------

公表日 2025年12月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83% (5人)	17% (1人)	・決められている大きさよりは広めのスペースが十分に確保出来ています。	・現状維持していきます。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83% (5人)	17% (1人)	・基本の配置人数以上の人員は配置出来ております、曜日、時間に応じて対応出来ています。	・現状維持していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83% (5人)	17% (1人)	・視覚支援を各場所に設置する事で子どもにわかりやすくなっています。	・視覚支援だけではなく空間の構造化がもう少し工夫が必要と思われます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100% (6人)		・座学と運動とでは教室を変えています。また、療育終了後は清掃・除菌を毎日行っています。	・現状維持していきます。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83% (5人)	17% (1人)	・個別療育やクールダウンなど、個別訓練室をいつでも利用できるようになっています。	・現状維持していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100% (6人)		・全員が参加出来る様に、曜日・時間を決め行っています。	・現状維持していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (6人)		・ご意見があった場合は真摯に受け止め、職員間で共有し、改善策を立案しています。	・現状維持していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (6人)		・ミーティング時にお互いが意見を出し合える様にし、早期解決出来る様に努めています。	・現状維持していきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50% (3人)	50% (3人)	・現在行っていません。	・今後、必要に応じて外部評価の実施を検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (6人)		・毎月必ず2~4項目程度の動画研修を法人内で行っています。	・現状維持していきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (6人)		・作成し、紙面としてお渡ししています。	・個人情報となりますので公表はしていません。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100% (6人)		・職員間での聞き取りを行いその内容をお互いが共有し、作成を行っています。	・現状維持していきます。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (6人)		・職員間での聞き取りを行いその内容をお互いが共有したうえでしっかりと検討し、計画の作成を行っています。	・現状維持していきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83% (5人)	17% (1人)	・計画作成後は、職員間で内容の確認を行つてから日々の支援に繋げています。	・職員の知識や経験の違いにより多少の違いも生じる事があるので一定化して行きます。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (6人)		・日々の振り返りや記録を元に確認を行っています。また言語聴覚士の検査を受けてもらい、その結果を踏まえた支援を行っています。	・現状維持していきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (6人)		・行っています。	・現状維持していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100% (6人)		・週単位で企画・立案を行っています。	・現状維持していきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (6人)		・様々なツールを用いて同じ活動が続かないように思考・工夫をしています。	・現状維持していきます。

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100% (6人)		・行っています。	・現状維持していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50% (3人)	50% (3人)	・職員の出勤時間が全員一緒では無い為、支援開始前の打ち合わせは前日の退勤前に行いつつ、その内で役割分担はしています。	・開始前にも出来る様に業務改善も検討して行きたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83% (5人)	17% (1人)	・連絡帳の記入の際に行っています。	・現状維持していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (6人)		・連絡帳・ケース記録など使用しているツールを利用して行っています。	・現状維持していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (6人)		・行っています。	・現状維持していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (6人)		・日常から支援に携わっている児発管・管理者・職員で行っています。	・現状維持していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100% (6人)		・訪問看護・幼稚園・保育園など日常から連携を行っています。	・現状維持していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100% (6人)		・必要時には幼稚園や保育園、こども園への訪問を行い、情報共有や支援者会議を行なうなど密にして、支援の食い違いが無いよう努めています。	・現状維持していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100% (6人)	100% (6人)	・小学校には併設している保育所等訪問支援から情報共有してもらっています。（併設している放デイには直接伝達しています。）	・今後は就学児童が増えてくると思いますので、その際には事業所からも情報共有の場を積極的に図って行きたいと思います。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		100% (6人)	・現在は行えていません。	・今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		100% (6人)	・現在は行えていません。	・今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (6人)		・毎回の送迎時にその日の出来事や様子についてお伝えしています。また必要に応じて別途時間を設けています。	・現状維持していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100% (6人)		・3か月に1回のベースで保護者向けの研修会を催しています。	・現状維持していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (6人)		・見学時・体験利用時・契約時などに行っています。	・現状維持していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (6人)		・契約後のアセスメント・更新時のモニタリングの際に家族・本人の意向の確認をしています。	・現状維持していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100% (6人)		・お渡しの際に必ず説明を行いご確認頂いた後にサインを頂くようにしています。	・現状維持していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (6人)		・不定期ではあるが必要に応じて時間を取り、面談を行っています。	・現状維持していきます。

保護者への説明等	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100% (6人)	・3か月に1回催している保護者研修会の後に談話が出来る時間を設けています。 また、研修会では利用者以外にもご兄弟の参加も可能となっています。	・現状維持していきます。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (6人)	・相談があれば、その都度出来る限りの事は迅速に対応しています。	・現状維持していきます。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	100% (6人)	・日々の活動内容を週に3回インスタグラムを活用し、お伝えしています。	・現状維持していきます。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (6人)	・鍵の付いた書庫で管理し、外部に持ち出しが出来ないようにしています。	・現状維持していきます。
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (6人)	・主にメールを活用していますが、個々に書面や口頭なども用いてお伝えしています。	・現状維持していきます。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100% (6人)	・現在行っていません。	・今後、必要に応じて実施を検討していきます。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100% (6人)	・教室では3か月に1回、全体では半年に1回行っています。	・現状維持していきます。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (6人)	・行っています。	・現状維持していきます。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100% (6人)	・契約前や契約時、更にアセスメントの際に確認を行っています。	・現状維持していきます。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100% (6人)	・事前に確認は行っています。指示書があればそのように対応致します。	・現状維持していきます。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (6人)	・行っています。	・現状維持していきます。
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100% (6人)	・各分野に分散させて計画書を作成。内容に基づいた措置を行っています。	・現状維持していきます。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (6人)	・本日の業務報告をする際にヒヤリハット案件についても報告をあげ、その都度解決策を検討しています。	・現状維持していきます。
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (6人)	・社内外の研修を積極的に行っています。	・現状維持していきます。
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100% (6人)	・ご契約の際にご説明を行っています。	・現状維持していきます。